

「人は、何のために生きるのだろう？」

「それはね、何のために生きるのかを探すために生きるんだよ」

こんな問答を耳にしたことがあるでしょうか。何の答えにもなっていない回答をもらっても困りますね。聖書には、こう書いてあります。

神を恐れ、その命令を守れ。これはすべての人の本分である。

(旧約聖書 伝道の書 第 12 章 13 節)

「本物の神」という存在を認めて生きること。その命令を守ること。それが全人類の本分(本来尽くすべき責務)だということです。その命令とは、

『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。これがいちばん大切な、第一のいましめである。第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。これらの二つのいましめに、律法全体と預言者とが、かかっている

(新約聖書 マタイによる福音書 第 22 章 37~40 節)

神を愛することと、隣人を愛すること。この2つに、聖書全体がかかっているのだと説明されています。

あなたのための救いぬし

世界のあちこちで争いがあります。その原因は常に「人間の心」です。宗教、思想、信条、イデオロギー、政党、学問、国家、民族、家系、血筋、容姿、資産などが、争いの道具として使われます。自分の考えと違うと言って、互いに争い、奪い合い、傷つけ合い、殺し合うのです。戦争反対を叫んでいる人の家庭が崩壊していたり、弱者救済を唱えつつイジメに加担していたり、傍から見ると矛盾しているようなことも、本人の中では「自分の考え・価値観」に従った結果であって筋が通っていると感じるのです。

だから聖書には「神を恐れよ」と書かれています。自分がどう考えるか、どう思うかではなくて、神様の意志はどうかを知るように、そしてそれは「愛せよ」なのだと言っているのです。「キリスト教という宗教」も、人間の争いの道具としてさんざん利用されました。聖書について我田引水の解釈をでっちあげて人々を争わせた指導者も数多くいました。聖書には「神を愛し、隣人を愛する」よう書いてあるのです。なのに、いつの時代にも人類は争い続け、傷つけ合い殺し合い続けています。一体、こんな状態をどうしたら良いのでしょうか？ 神様は、そういう状態からの「救い」を用意しています。

きょうダビデの町に、あなたがたのために救主が^{すくいぬし}お生れになった。

(新約聖書 ルカによる福音書 第2章 11節)

イエス・キリストは、その生まれるずっと前、旧約聖書の時代から誕生が予告され、人類の救い主としてこの地上に來ました。それを祝い感謝する日が「**クリスマス**」です。イエス・キリストをただの偉人、宗教家、過去の人と捉えてしまうと無意味です。救い主として、神と隣人とを愛するように助けてくださる存在だと知り、個人的に意思疎通を図っていく必要があります。「自分自身」が絶対的価値基準であったところから、神様に価値を置く生き方に変えられていくと、その神様があなたをどれほど愛しているか、あなたからの愛を望んでおられるか、わかってくるのです。

クリスマスを機に、この「救い主」であるイエス・キリストを、知ってみませんか。

祈ってみましょう

キリストの誕生を祝うのがクリスマスだと、なんとなく聞いたことがあります。でもイエス・キリストについて何も知りませんでした。わたしのための救いぬしだとわかるように、助けてください。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

(TEL&FAX 011-561-5072)

<http://sapporopk.com/>

クリスマス集会のご案内

クリスマス礼拝 12月17日(日) 朝 10:30~12:00 頃

キャンドル礼拝 12月24日(日) 朝 10:30~12:00 頃

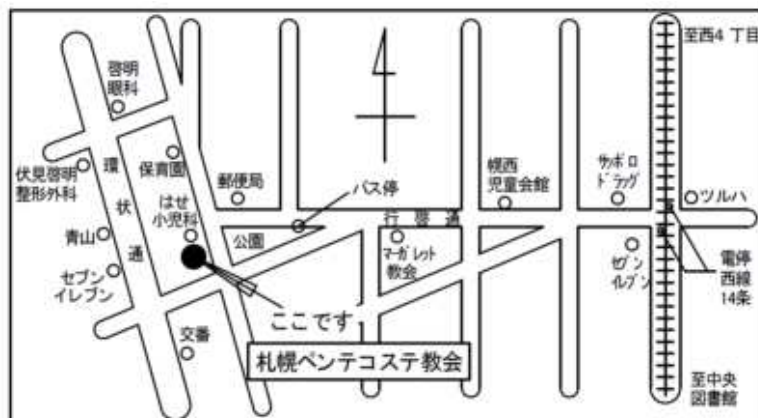
札幌ペンテコステ教会 <http://sapporopk.com> (右のQRコードから)

NewHope のバックナンバー、礼拝の Youtube 動画などもあります。

日本聖書協会 <https://www.bible.or.jp>

『聴くドラマ聖書』アプリ <https://graceandmercy.or.jp/app/>

ドラマ「The CHOSEN」 <https://www.angel.com/watch/the-chosen>



【教会へのアクセス】

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車
JR 札幌駅札幌ターミナルから
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車

駐車スペース有